

娘が短大を卒業して就職しました。社会人となった娘は本心に頼もしい存在です。朝も早く起きて早めに出勤しています。職場の方々にも恵まれ、順調な日々を過ごして

居をかまえて、初めての春を過ごしています。まだお庭のお手入れをしないので暖かくなってきた今日この頃、子どもが休みのときにお花を植え、お庭造りに挑戦したいと思います。(20代・女性)

居をかまえて、初めての春を過ごしています。まだお庭のお手入れをしないので暖かくなってきた今日この頃、子どもが休みのときにお花を植え、お庭造りに挑戦したいと思います。(20代・女性)

寄せられた声

声 (耳のマーク)
まちの

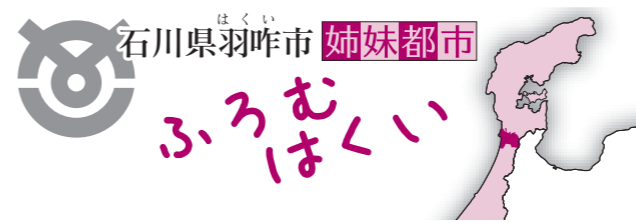
みなさんからの声を紹介しします。

このほか2通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただきます。ご了承ください。

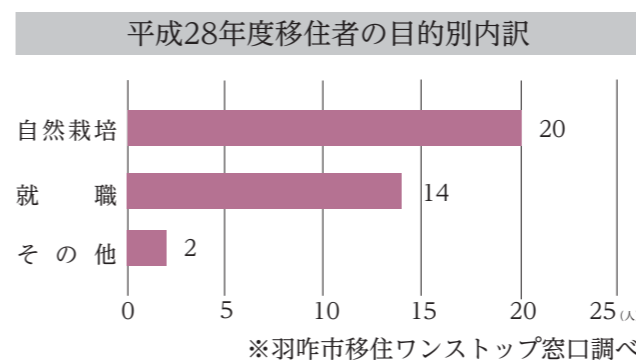
お子さんが元気に学校に通うことができたのも家族の皆さんの支えがあつたのとおもいます。今後も健康に気を付け、夢に向かって充実した学校生活を送れるようサポートをしてあげてください。

娘

が無事に高校を卒業しました。そして皆勤賞をもらいました。これで幼稚園・小学校・中学校・高校と15年間皆勤でした。4月から専門学校に入学しますが、自分の夢に向かって頑張ってもらいたいです。(50代・男性)



昨年度、無農薬・無肥料の自然栽培に魅力を感じ、羽咋市へ移住した人は20人に上り、平成27年度と比較すると4倍になりました。



初の单身女性も

自然栽培の移住者、増す!

J Aはくいが開塾している“のと里山農業塾”では、農業初心者へ自然栽培の手法を一から教えています。移住者の多くは「安心・安全な自然栽培を学びたい」という思いを胸に羽咋市へ移住してきます。



↑自然栽培への熱意を語る水野さん。

水野早乙美さんもその1人で、今年2月に東京から移住しました。自然栽培に取り組むため、女性が単身で移住した初のケースです。「自然栽培はすばらしい試み。羽咋市で楽しく農業ができることもPRしていきたい」と力強く語ってくれました。

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介しします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報聴係「まちの声」応募係・hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中からパティスリーFよりレモンケーキ3個セットを10人にプレゼント。応募締切は5月17日(水)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます



レモンケーキ 3個セット

暑い季節にもさっぱりと食べられ、手土産にも人気の一品です。

素材の味を活かしたケーキや焼き菓子などを販売しています。夏には自家製かき氷も販売。7月15日(土)・16日(日)は4周年のオープン記念セールを行います。

cake salon パティスリーF

藤岡市藤岡1677-1 ☎☎8982 火曜定休
営業時間/午前10時~午後8時

プレゼントの提供者を募集しています。秘書課広報聴係☎☎2208までご連絡ください。

耳より情報

クイズラリーに挑戦してみませんか!



藤岡市観光協会では、市内5施設道の駅ららん藤岡、ふじの咲く丘、世界文化遺産高山社跡、道の駅上州おにし、桜山公園で「フジオカクイズラリー」を実施しています。

◆遊び方◆

- ①各施設にあるクイズシート(100円・参加賞付き)を購入
- ②クイズシートの裏面にある問題を解き明かす
- ③全問クリアで応募ハガキがもらえます

応募ハガキをたくさん集めて豪華賞品をゲット!(平成30年2月28日まで応募可)

ふじおか Culture

~藤岡の文化を探る~ No.14

問い合わせ 文化財保護課(☎☎5997)

平井金山城跡

~大手門跡~

4月1日号で紹介した平井金山城跡で発見された城郭遺構には、櫓門跡以外に大手門跡などがあります。大手門は玄関にあたり、石積みなどで玄関を飾る目的として、「城の化粧」が施されていました。

発掘調査で発見される遺構は、概ね土を掘ったり、土を盛った痕跡が見つかるばかりで、大手門に使われていた柱などは、腐食などにより遺されていません。そこで、考古学では遺構の状況から構造を推定します。大手門は前回紹介した櫓門と同じく、柱と柱をつなぎ合わせた「溝もち」構造ですが、櫓門と異なりその溝は幅広く深いものでした。このことから大手門の建物は、高さのある重層構造の建物であったと考えられます。

城門である大手門は、多数の守備兵を上部に置き、侵入する敵兵を攻撃することができたと推定されます。また、その上層階には、見張りをするための施設があったと考えられます。さらに背後にそびえる「カロウト岩」上部の平坦面からも、守備兵が弓矢を射ることができたと思われます。大手門とその周辺は、非常に堅固な防御構造であったと考えられます。



大手門跡推定復元図